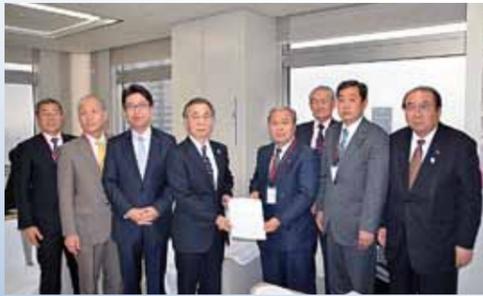


交通対策特別委員会



林田・島田両都議同席のもと行われた要望活動（都庁）

28年1月29日、JR八高線の増便など利便性向上、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎延伸の早期実現に向けて、町と共にJR（八王子支社・東京工事事務所）および東京都に対し要望活動を行いました。JRに対しては、運行本数の増発のほか、新駅の設定、複線化やホームドアの設置などを要望しましたが、駅利用者増が前提との答弁がありました。東京都に対しては、林田都議、島田都議同席のもと、モノレール箱根ヶ崎延伸の早期実現を要望。この路線は優先的に整備を推進すべきとの答弁がありました。これからも、実現に向けて委員一同強く働きかけてまいります。

JR・東京都へ要望活動

JR八高線増便・モノレール延伸の早期実現に向けて

交通対策特別委員会

11月9日・10日

たわらもとちょう
奈良県田原本町

乗り合いタクシーで 住民の利便性の向上を

～デマンドタクシー「ももたろう号」について～

田原本町では、住民の買い物や通院などの移動支援と地域の活性化を図るため、デマンド型乗り合いタクシー事業を導入していた。住民も参画する協議会で何度も協議し、住民ニーズや町の地理的特性を考慮してこの形態にしたとの事であった。地元のタクシー業者と契約し、デマンドの時は専用シールを貼ったタクシーを使い、配車の予約なども担うことで運営経費削減を実現していた。交通の利便性が課題のわが町にとって、大いに参考となった。

委員会視察報告

◎委員長 成兆 嘉男 〇副委員長 山崎 原 隆夫 近藤 義子
◎村上 森 ◎古宮 郁夫 下野 義子



おうごちょう
神戸市北区淡河町

行政の助成なしで バスの運行を実現

～淡河町ゾーン・バスの取り組みについて～

交通アクセスの向上を望む住民の声を実現するため、NPO法人「上野丘さつき会」の理事長がゾーン・バスの運行をスタートさせた。地域の方々の協力を得てバス停を設置し、さつき会の車両をシェアリング利用するなどの経費削減を図り、自治体からの支援なしで黒字運行を実現していた。傑出した人材によるところが大きく、事業の継続性には課題もあるが、マンパワーの素晴らしさを改めて実感した。人を活かす取り組みを町に提言したい。

全国コンクールで 奨励賞を受賞!



第30回町村議会広報全国コンクールにおいて、わが瑞穂町の議会広報紙「ギカイのひろば」が編集・デザイン部門で奨励賞を受賞しました。今後も住民の皆様が親しみやすい広報紙を目指し、なお一層の努力を重ねてまいります。（編集委員一同）



山崎 栄 議員（自民新国会）

公共施設等総合管理計画について問う

町長 28年度に計画を作成する



28年度耐震補強工事等を予定している武道館

町長 町では、現在、関連する固定資産台帳の整備に取り掛かっている。28年度には総合管理計画を作成し、公

質問 町は、多くの公 共施設等の耐震診断結 果や老朽化への対応、 施設の維持管理、更新 に係る経費やその財源 など大きな課題がある。 加えて新庁舎の建設な

ど厳しい財政状況にな ると予想される。その 中でも、社会情勢や町 民の要求に因應する新 たな公共施設は必要とな ってくるかと考える。総 務省の公共施設等総合 管理計画は施設の統廃 合を前面に打ち出して いるが、我が町の計画 の進捗状況と今後の方 針及び取組み状況につ いて問う。

町長 町では、現在、 関連する固定資産台帳 の整備に取り掛かっ ている。28年度には総 合管理計画を作成し、公

共施設の老朽化の状況 利用状況、維持管理に かかる充当可能な財源 の見込みなど現状把握 を行い、施設ごとの管 理に関する基本的な方 針を定める。既存施設 のトータルコストを踏 まえることで町の投資 能力を予測することに 役立ち、計画性が高ま るが、一方で、社会資 本整備が硬直化してし まうことが懸念される。 今後、何を残し、何を 構築するのか更に問わ れることになる。



古宮 郁夫 議員（自民新国会）

瑞穂町子ども議会の開催趣旨と 町の基本的対応姿勢について

町長 未来を考え、自覚と責任を持つ 大人になる事を願っている

質問 1月24日に議会 議場において開かれた 子ども議会は、小・中 学生の子とも議員が、 弁舌さわやかな一般質 問で非常に立派なもの であった。子どもたち が失望感を抱く事なく 希望を持てる場である ことを願う。昨年の公 職選挙法改正で選挙権 の年齢が引き下げられ 18歳になった事で、 「子ども議会」に力を 入れる自治体が増加中 との報道がされている。 そこで、「子ども議 会」の経緯も含め、開 催趣旨と基本的対応姿 勢について問う。

町長 瑞穂子ども議会 は、19年度に小学生を 対象に開始し、その後 中学生も加え現在に至 っている。子ども達が 議会の役割について理

解を深め、意見を述べ ることの大切さを知り、 自分たちが地方自治に 参加する意義を知るた めの機会として開催し ている。町の現状、課 題を踏まえ、できる、 できないことの理由を はっきりと伝え、でき る限り丁寧に回答して いる。子ども達が事前 学習に励んだり、議会 を体験し、町の未来を

こんな質問もありました
自治体業務継続計画と 新庁舎機能について
町長 災害に備え、 業務継続を実行する 機能を備えた庁舎を 設計する。



28年1月に開催された「みずほ小・中学生子ども議会」の様子